

かたくり便り

平成 29 年 5 月号

練馬区立土支田デイサービスセンター 編集：所長 大川原いずみ

お問い合わせ：電話 5 3 8 7-6 7 6 0

「ありのままのあなたを大切にします」

経営理念：練馬区社会福祉事業団は、人権尊重を理念とし、地域で最も信頼され、喜ばれるサービスの提供を、効率的でバランスのとれた経営をもって行い、区民福祉の向上を図ります。

4月のセンターの様子

★今年の開花は思ったよりも遅れぎみに感じましたが、4/3～8の間でお花見に出かけました。「清水山憩いの森」のカタクリの花も眺めてきました。



★職員アイデアの新しいゲームをご紹介します！

「足でゆらゆらスマートボール」です。二人で足でバランスをとり、穴にボールを落とすゲームです。体幹と下肢筋力を鍛えられます。なかなか白熱でした。



★お客様の共同制作の壁画です。季節に合わせた作品を制作します。



玄関前をご覧ください！

お客様懇談会より

★いつも事業運営に対してのご協力、ご意見、ありがとうございます。当法人では、お客様からの職員、施設への贈り物、お心づけにつきましては、一切お断りしております。皆様からのお気持ちは心よりありがとうございます。改めまして、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

★気候の良い日は散歩など屋外プログラムも予定していきます。

★年度替わり、制度改正にて、契約書・連絡先簿などの提出をお願いしています。お手数をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

職員からの“知ってて情報”コーナー

『盲導犬と歩く方に出会ったら…。』

『盲導犬と歩く目の不自由な方』（以後、ユーザー）に出会った時、私たちはどのように対応したらよいのでしょうか？

例えば、駅のホーム…。ユーザーは基本的にホームも一本の道路として左側に寄って歩きます。ベンチや柱、人なども“障害物”と判断し避けて通ります。そのため、行きたい方向を誤り、ホームの端や階段付近で危険につながる場合もあります。混雑し歩みにくそうだったり不慣れな様子でしたら、声を掛け手を引いて歩く方がより安全です。

しかし、『お手伝いしましょうか？』と声を掛けても断られる場合もあります。

ユーザー自身が歩く方法を選択するのは、とても大事なことなので、危険な事故を未然に防ぐために、そっと見守ってあげましょう。

送迎員 服部でした。



★土支田デイのブログは、随時更新しています。デイの様子をタイムリーにお知らせいたしますので、ちょっとのそいでみてくださいな。 「土支田デイ」で検索！